

APBA News

第1号

特定非営利活動法人 アジア
失明予防の会（文責 竹岡）
<http://www.asia-assist.or.jp/>
APBA2010@gmail.com

会報の発刊に当たり

何時もご支援を賜りまことに有難うございます。当会は、2003年10月1日、NGOとして発足、その後2005年6月21日、NPO「アジア失明予防の会」として京都府より正式に認可されました。早いもので5年間の活動を続けてまいりました。この間ベトナムを中心に東南アジアで孤軍奮闘されております服部先生のことは各種マスコミ報道を通じ皆様方のご存知の通りです。

しかしその活動も皆様方からの会費やご寄付による淨財がなければ活動も叶いません。

今後とも皆様方の更なる暖かいご支援を賜りますようよろしくお願いをいたします。そのためには活動をもっと身近に知っていただくことが必要と考えております。当面は不定期ながら、このような会報を通じて日頃の服部先生の活動を中心にお伝えしていくつもりです。

また、お知りになりたいことなどございましたら何時でもご連絡ください。メールアドレスは上記の通りです。また、新しい会員のご紹介をいただけましたら有難く思います。

アジア失明予防の会 理事長 木下 茂よりの ご挨拶

アジア失明予防の会がNPOの認定を受けてから早や5年目となりました。

今まで変わることなく活動ができましたことを深く感謝いたします。

皆様に当会の動きをお知らせする機会は、年1回発行する事業報告のみでしたが、この度、竹岡友昭氏にご尽力を戴きまして「APBA News」を発行する運びとなりました。

「APBA News」を通して皆様により早く活動の様子をお伝えできることを嬉しく思っています。

服部先生の活動予定

・日本国内にて

- 聖マリアンナ医科大学の学園祭にて講演
11月22日（日） PM14:00～15:30
同医科大学病院 3階大講堂にて 参加費無料です。

・ベトナムにて

- 10月 ハノイ国立眼科病院、テレコム病院、フレンドシップ病院にて眼科医療技術の教育・指導
- 10月 『Save the Vision』プロジェクトの一環
カウマウ省の総合病院にて貧しい人々に対して無償の白内障手術を実施予定（100人）
- 11月 ハノイ国立眼科病院、テレコム病院、フレンドシップ病院にて眼科医療技術の教育・指導
- 11月 『Save the Vision』プロジェクトの一環
ティンクアン省の総合病院にて貧しい人々に対して無償の白内障手術を実施予定（80人）
- 12月 ハノイ国立眼科病院、テレコム病院、フレンドシップ病院にて眼科医療技術の教育・指導
- 12月 『Save the Vision』プロジェクトの一環
ネアン省の総合病院にて貧しい人々に対して無償の白内障手術を実施予定（80人）
- 12月 フエ市のフエ眼科病院にて貧しい人々に対して無

償の白内障・硝子体手術を実施予定（30人）

- 2010年1月 ハノイ国立眼科病院、テレコム病院、フレンドシップ病院にて眼科医療技術の教育・指導
- 2010年1月 『Save the Vision』プロジェクトの一環
ビンフック省の総合病院にて貧しい人々に対して無償の白内障手術を実施予定（80人）

・ミャンマーにて

- 10月 ヤンゴンの仏教病院の見学、および現地の協力機関のリサーチ

「失明予防の会」理事会を開催

今年度の理事会が9月23日（水）15:30～約1時間、京都府立医科大学看護学学舎の会議室にて開催されました。連休中もあってか少し少ない参加でしたが、委任状も含めて開催が成立の上行われました。

平成21年度事業報告、及び平成22年度の事業計画及び予算について質疑の上、承認されました。

また、21年度の活動報告、病院プロジェクトについての顛末報告、総会の日程等の報告が行われました。

「アジア失明予防の会」総会のお知らせ

平成21年度の「アジア失明予防の会」の総会が以下の通り開催されます。皆様方のご出席をお願いいたします。

日 時：平成21年11月26日（木） 18時30分～

場 所：青蓮会館（京都府立医科大学学友会館）

京都市上京区・河原町荒神口（京都府立医大より南へ一つ目信号）東入る。



服部先生の活動実績報告（9月度）

1. ハノイ国立眼科病院、テレコム病院、フレンドシップ病院にて眼科医療技術の教育・指導
2. 『Save the Vision』プロジェクトの一環にて、ニントアン省総合病院にて貧しい人々に対して無償の白内障手術を実施（75名）致しました。またこの地方の活動に日本からボランティアで稻田医師（東飯能眼科）、栗原医師（広瀬病院）が参加しました。ニントアン省の人民委員会や医療保険局からの評価も高く、再度来てほしいとの要請もありました。



ニントアン省はベトナム中南部にあり、有名な観光地であるニヤチャンとダラットにはさまれた小さな省で、観光資源も少なく非常に貧しい地域です。天然資源として風と砂に恵まれているだけですが、ブドウ栽培とワインの醸造、塩の生産、ヒツジの飼育場所として有名になりつつあるところです。



手術の様子



順番を待つ患者さん

ロート製薬（株）特別協賛のコンサートご案内 LOOK NEXT ロート目薬100周年Presents 「時代を超える歌」

ロート製薬株式会社では、目薬発売100周年を記念してのコンサートが下記のよう開催されます。

なお同社より、本コンサートの収益の一部を服部先生の支援のため、「アジア失明予防の会」にご寄付いただきますことお申し出いただいております。

日時：2009年11月26日（木） 18:00開場 19:00開演

出演者：大黒摩季、TOSHI、中村中

会場：東京国際フォーラムAホール 費用：¥5500（入場料の一部をアジア失明予防の会へ寄付いただきます）

主催：TBS 特別協賛：ロート製薬

なお、BS-TBS、TBSラジオにて特番としてコンサートを収録放送予定があるそうです。

また、ロート製薬株式会社より、目薬発売100周年を記念して、既に眼内レンズを2200枚【ハードレンズ1700枚、ソフトレンズ500枚、そのうち700枚はすでにベトナムの地方の施設に寄付済】の寄贈を受けております。

ベトナムの人口をご存知ですか？

今年4月1日午前0時時点のベトナムの人口は85,789,573人で、このうち男性は42,482,549人（49.52%）、女性は43,307,024人（50.48%）です。

ところでベトナムでは現在産児制限が行われ、2人までとされています（厳密には公務員に適用）

先日もベトナム航空のCEOが3人目の子供が出来たことで譴責処分を受けました。前妻との間で1人、現在の妻との間で2人の子どもを設けたということです。

国連人口基金によると、ベトナムでは女児100人に対し112人の割合で男児が生まれている。以前は、男児の生まれる割合は105人から106人程度だったという。

ニヤン副首相は、このまま男児が増え続ければ、将来、数百万人のベトナム男性が伴侶を見つけられない事態となるとの危惧を示しています。

このため、当局が27タイトルの男女産み分け指南本3万冊を押収し処分しています。7つのウェブサイトから、男女産み分けに関する記載が削除されています。

一方、国連人口基金は、男児の誕生が好まれるベトナムで、女児を妊娠した場合は中絶してしまうことが男子が増加している原因として、男女平等についての啓発が必要だと指摘していますが。

